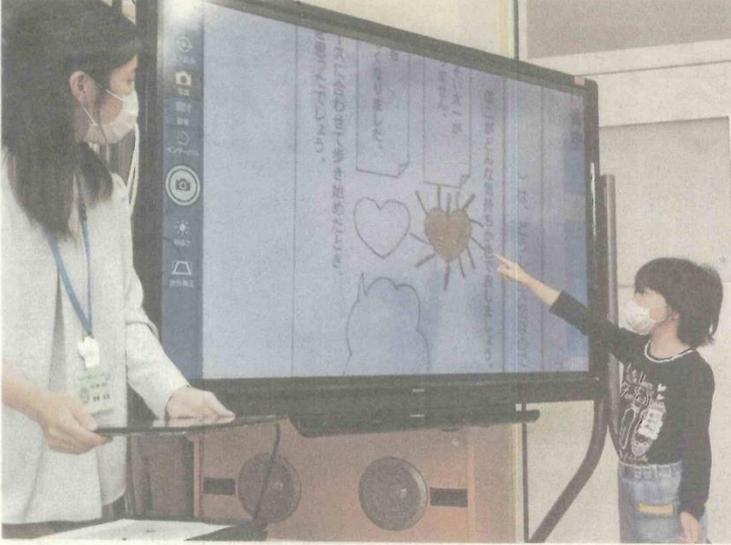


# ごしよの華

令和2年  
10月23日(金)  
No.11  
御所ヶ丘小学校



御所ヶ丘小学校の取組が茨城新聞に掲載されました



## 色と形で「深い学び」

### 守谷・御所ヶ丘小、茨城大と連携

守谷市立御所ヶ丘小(成井紀英校長、児童322人)は茨城大と連携し、道徳や国語、社会科などの学習において、児童の考えや気持ちを色と形で表してもらおう「色と形を用いた学習方法」を取り入れている。言葉や文章以外で自分の考えを表すことで、考えを可視化し、子どもたちのより深い学びにつなげる。

「色や形」を用いた道徳の授業で、自分の考えを発表する児童=守谷市立御所ヶ丘小

## 自分の考えを可視化

### 学習法の開始

色と形を用いた学習方法は、自分の考えを色や形で素直に表現してもらおうことをきっかけにして、思考をより深く掘り下げていくことができるという。同大教育学部の打越正貴教授らの協力を得て本年度から導入、今月から授業に取り入れている。

12日に行われた3年生の道徳の授業では、主人公の気持ちを読み取るために、プリントに描かれたハートマークに、主人公の気持ちとして自分が考えた色を付けていった。色だけでなく、ハートマークにとげを描くなど自由に表現。児童は教師の問いに答えながら、思い思いに主人公の気持ちを考え、自分の考えを発表していた。

中村美香さん(9)は「答えを書くだけよりも、色を塗ることも一緒にやったほうが楽しい」と感想。教師の東條彩音さんは「色での表現は反応がよく、子どもたちも積極的にやってくれる。言葉や文章として考えを引き出さなければいけないが、子どもたちの考えを掘り下げるきっかけになる」と話した。

授業を視察した打越教授は「言語化される前のイメージに注目し考えを引き出すもの。学習のやる気を起こさせるほか、言葉で表現することが苦手な児童にとっても有効だと思う」と話していた。

(黒羽根勝弘)

## 文化庁巡回公演がありました

10月16日(金)に文化庁の巡回公演がありました。「ドン・キホーテ」を観劇しました。台詞はほとんどありませんでしたが、出演者の方々の身体全体を使った表現に、子供たちは見入っていました。観劇後は、PTAの役員さん方が準備をしてくださった御所みくじを引いて、素敵な景品を一人一人いただきました。今年度は、ごしよまつりが中止となりましたが、思わぬサプライズに、笑顔がこぼれる子供たちでした。



前期が今日で終了しました。後期も引き続き宜しく御願ひ致します。